

# 第4章 自分を表す

## 第13条

こどもは、自分が思ったこと、感じたことを素直に表現したり、意見を表明したりすることができます。



自分の思ったこと、感じたことを素直に表したり、意見を言ったりすることはとても大事なことです。

ほんとうは、みんな、自分のことをいろいろな方法で表しているのです。

赤ちゃんは、笑ったり、泣いたりして、精いっぱい自分のことを伝えようとします。

小さいこどもも、いろいろな方法で、一生懸命気持ちを伝えます。時には、うまく表現できなくて、かんしゃくを起こしてしまったりすることもあります。

だれでも、はじめからじょうずに表現できるわけではありません。

でも、自分の伝えたいことを、ほかの人がしっかりと受けとめてくれて、うれしかったことはありませんか。

相手にしっかりと自分の気持ちや考えを伝える力をつけていくこと、相手の伝えたいことをしっかりと受けとめること、両方とも大事なことです。

そのためには、小さいときから、家庭や地域の中で、人と人との豊かな人間関係を築くためのコミュニケーションをする力をつけていくことがとても大事です。

大人はこどもの精いっぱい「気持ちの表れ」を受けとめていますか？

最近のこどもは、「まわりのことを考えずに何でも言う」と言われるけれど、小さい時から大人がしっかりとこどもの「気持ちの表れ」を受けとめてきましたか？

「自分を表す」ためには、ルールを守らなくてもいい、他の人はどうでもいい、ということはありません。法律や規則など、社会や集団の中では、さまざまな「ルール」があります。学校にも「校則」があります。「自分を表す」ことは大事なことです。社会のルールや他の人の人権を守ることも必要です。

